

10月12日のウクライナ情報

安齋育郎

●早く戦争をやめた方がいい(2022年10月11日)

ウクライナ・エネルギー省、ロシアのミサイル攻撃で EU への電力輸出を停止 - ロイター

●ロシア国防省発表の本日の攻撃(2022年10月10日)

ロシア国防省、ウクライナにおける特別軍事作戦の進捗状況について報告(2022年10月10日付)

ロシア連邦の軍隊は、特別軍事作戦を継続している。

本日、ロシア軍は、ウクライナの軍事管制、通信、エネルギーシステムの施設に対し、大規模な高精度長距離攻撃を開始した。

攻撃の目的は達成された。割り当てられた標的はすべて無力化された。

敵の 4 中隊戦術集団は、クピャンスク方面のキスロフカ、タバエフカ(ハリコフ地方)、クゼモフカへの攻撃を試みて失敗した。

ウクライナ軍(AFU)の攻撃はすべて撃退された。敵は 40 人以上の人員、戦車 5 台、装甲戦闘車 4 台、自動車 15 台を失った。

AFU 部隊は、Makeyevka 付近の Zherebets 川と Krasny Liman 方向の Raygorodok (Lugansk 人民共和国)の横断を試みたが、失敗に終わっている。

ミサイル部隊と大砲による集中砲火により、AFU によるフェリー渡河の試みは全て挫折した。

最大 3 つの大隊の戦術グループと 1 つの外国人傭兵部隊が、ニコライエフ・クリボイ・ログ方面のブルスキノエ、ベジメンノエ、サドク、ス カノボ(ケルソン地方)に向かって攻勢をかけている。

ロシア軍の激しい行動により、敵は当初の陣地に追いやられた。

ロシア連邦軍は上記の方面で 60 名以上の人員、9 台の戦車、16 台の装甲戦闘車、17 台の自動車を失った。

作戦・戦術・陸軍航空隊、ミサイル部隊、砲兵隊は、Verkhnekamenskoye、Bakhmutskoye、Artyomovsk、Ugledar (Donetsk People's Republic)、Pavlovka (Zaporozhye region) および Blagodarovka (Nikolayev region) 周辺の 6 つのアフガニスタンの司令部、52 の砲兵部隊とその射撃場、143 の人員・軍事機器集中地帯で無力化させた。

Seversk, Avdeyevka, Shevchenko (Donetsk People's Republic), Novoaleksandrovka (Zaporozhye region), Bereznegovatoye (Nikolayev region) 周辺のミサイル、砲弾、兵器庫 5 箇所が壊された。

ドニエプロペトロフスクとパヴログラド(ドニエプロペトロフスク州)付近で、AFU の燃料貯蔵所 2 ヶ所が破壊された。

ロシア航空宇宙軍の戦闘機が、Belaya Krinitsa(ケルソン州)付近で、ウクライナ空軍の MiG-29 1 機を撃墜した。

ニコラエフカ(ルガンスク人民共和国)、ペトロフスコエ、ヴェレリヤノフカ、コデマ(ドネツク人民共和国)、チェルボニーヤル、ミロヴォエ(ケルソン州)付近で防空施設により無人機 6 台が破壊された。

さらに、カザツコエ、オトラドカメンカ、チェルボノエ ポドリー、ノバヤ カホフカ (ヘルソン地域) の

近くで米国製の HIMARS MLRS によって発射された 6 つの発射体、およびアントノフカ（ヘルソン地域）の近くで 3 つの HARM 対レーダー ミサイル。

さらに、トーチカ-U 弾道ミサイル 1 発が Vysokoye(ケルソン地域)上空で撃墜された。

合計で、318 機の航空機と 159 機のヘリコプター、2,188 台の無人航空機、379 台の防空ミサイルシステム、5,604 台の戦車とその他の装甲戦闘車両、866 台の MLRS 搭載戦闘車両、3,462 台の野砲と迫撃砲、そして 6,463 台の特殊軍事車両がこの特別軍事作戦で撃墜された。

●ロシア軍ウクライナ空爆被害まとめ(日本時間2022年10月10日午後 9 時)

- ・完全電力喪失:ルヴォヴ、ポルタバ、スミィ、ハリコフ、テルノポリ
- ・携帯不通:ポルタバ、ジトムイル、スミィ、ハリコフ、キエフ
- ・破壊された重要建築物(キエフ):ウクライナ保安庁総本部／EU 諮問使節事務所(EUAM = European Union Advisory Mission)／キエフ法執行機関

●チェルニヒウ州上空にも(2022年10月 10 日)

ウクライナ北部チェルニヒウ州上空

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1579376451568427009?t=yIJGAGR3Omby1x-dxT1opw&s=09>



●ウクライナを無節操に応援すればこうなる？(2022年10月10日)

ウクライナの広範な地域にロシアのミサイル攻撃がされているようだ。投稿者弁 = 本当にウクライナの人々のことを考えたら、ウクライナ戦争の応援なんかしちやダメなんだって。早く戦争をやめよう。

<https://twitter.com/Jano661/status/1579370286868492288?t=SjTi0C3IbiWF41zuh46VjA&s=09>



※安齋注:ロシアが標的にしたと見られる重要施設:SBU(キエフ)／発電所2カ所(キエフ)／火力発電所(リヴィウ)／石炭発電所(イヴァーノ＝フランクィウシク)／ウクライナの欧州連合諮問ミッション(歩道橋に着弾した映像)／法執行機関(キエフ)。プーチンによれば「序の口」だということだが。

●ロシア国防省が”スターリンク”デバイスを無効に(2022年10月10日)

スターリンク (Starlink)は、アメリカの民間企業スペース X 社(イーロン・マスクが率いる)が運用している衛星インターネット・アクセス・サービス。

ロシア国防省によれば、「これはウクライナ軍の隊列に多くの混乱を引き起こした」という。

●ウクライナ東部 ロシア軍から奪還したイジュームで集団墓地発見。誰の仕業？(2022年10月10日)

※安齋注:この手のウクライナ側からの発表は非常に要注意です。下は9月19日の映像ですが、同じ内容を扱っています。ウクライナは、イジュームで集団墓地が見つかったと主張していますが、現地にジャーナリストが入ることを許可していません。いったいどういう人々が葬られている墓なのか？

<https://www.youtube.com/watch?v=72VGU6-BZzA>



●核アルマゲドンに関するバイデン氏の発言は、過去数十年で米国の最大の失敗だ＝ポンペオ元米務長官(2022年10月10日)



●クリミア橋の報復はもうすぐだと、ヘルソン地方行政の副代表(2022年10月9日)

https://twitter.com/morpheus7701/status/1579057580177256449?t=cTAyaK7FKsuXicDfP_GC2w&s=09



●ベラルーシ大統領、ロシアと共に軍配置を指示、ウクライナけん制(2022年10月1日)

【ロンドン 10日 ロイター】 - ベラルーシのルカシェンコ大統領は10日、ウクライナ政府や西側のウクライナ支援国からのベラルーシに対する明確な脅威に対抗するため、同国軍をロシア軍と共にウクライナ周辺に配置するよう命じた。ウクライナでの戦争がさらにエスカレートする可能性がある。

ルカシェンコ大統領は「ウクライナでベラルーシ領土への攻撃が議論されているだけでなく、計画されている」とし、「ベラルーシを戦争に引きずり込む」ために、ベラルーシへの戦争を仕掛けるよう後押しする動きがあると述べた。証拠は示さなかった。

その上で「われわれは数十年にわたり、このために準備を整えてきた。必要であれば対応する」と言明。ロシアのプーチン大統領とも現況を巡り協議したと明らかにした。

ベラルーシ軍は約6万人の兵士を擁する。



●フランスのドライバーの皮肉コメント(2022年10月11日)

「ありがとうマクロン(皮肉)」

マクロンのおかげでガソリン代も上がって困窮するし、給油に 50 分待ちだし、暖房も 19 度以上にはできないよ、本当にありがとう。

でも、一番責められるべきはアメリカと NATO と国連だよ

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1579681776825692160?t=b7e8diHmJ7dLLckzmEblew&s=09>



●スコット・リッターがバイデンのアルマゲドンを評す(2022年10月11日)

「バイデンが核兵器を使おうとしない限り、ロシアが核攻撃をすることはない」

ロシアは常に核兵器の使用には前提があると冷静に発言している。ロシアが核を使うと不安を煽っているのは西側諸国だけだ、そしてモスクワでパニックを起こさせ、マイダンを狙っている。

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1579691761114681345?t=rVfu1AV2TrTzcFOgS9rRzg&s=09>



●マリウポリに取り残された犬や猫の救出(2022年10月10日)

ドネツク と近隣では自宅に残った市民の他、戦闘で庇護を失った孤独なペットも砲撃の対象に。スプートニクは #ロシア 南部ロストフ州の動物保護施設「忘れられた心」の創設者タチアナさんに取材。彼女はマリウポリに3度足を運び、#ウクライナ 軍の砲撃の中、命がけで100匹以上の犬猫を救出。

<https://twitter.com/nowon158/status/1579489044752642048?s=20&t=4vqtbPMkySc7HCdZ4fNHTQ>



●イギリス市民の怒り(2022年10月3日)

英国では右肩上がりの生活費に反対するデモが続いています。

Enough is Enough! (いい加減にしろ!)というスローガンを掲げて約 10 万人の人々が都市の街頭に立ちました。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1576697259127103488?s=20&t=4vqtbPMkySc7HCdZ4fNHTQ>



プラカードの最下行に「トーリー党(保守党)と社長どもに払わせろ」とありますね。

●**こういう映像も残るんですね、今は(投稿:2022年10月11日)**

※投稿者コメント=このツケを払う、ドンバスの人々に泥炭(塗炭?)の苦しみを与え続けた報いを受ける時が来た。

<https://twitter.com/rustica30/status/1579489450413133824?s=20&t=UgXjK-dHlOqQ4xdxb X8Zw>



●**スコットランド、いよいよ独立か?(2022年10月11日)**

スコットランド当局が 2023 年に独立住民投票を実施する意向を確認 - スカイニュース

●**舵取り上手か、のらりくらりか、エルドアン・トルコ大統領(2022年10月11日)**

ヨーロッパはエネルギー危機の中でこの冬をどう乗り切るか悩んでいるが、トルコにはそのような問題はないとエルドアン大統領は述べた。



●ウクライナの少年教育の一面(投稿:2022年10月9日)

※安齋注:前に類似の映像の一部を送りましたが、すごいですねえ!

<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1578907294863360000?t=JLD7Bb63Wz5JL8iO7CZA0w&s=09>



●ウクライナ軍最高司令官のリストバンド(2022年10月10日)



●フェイク・ニュース・メディアの仮装(2022年10月10日)



フェイク・ニュース社特派員。面白いです

●ドイツのデモ = 欧州の政策を転換すべき時だ(2022年10月10日)

”私たちはガस्पロムが大好きです。ヤンキーゴーホーム! ”。何千人もの人々が集まり、生活費の上

昇、低賃金、インフレに抗議しました!!旧東ドイツの国歌を皆が歌いだしたり、中にはロシア連邦加盟の国民投票実施を求めたりする声もあるとか。

https://twitter.com/kinakomochi_215/status/1579417146236764160?t=5FlwWSBFhgUnZwbHA6Bvg&s=09

ヨーロッパの政策
を転換するときだ



●抗議運動はフランスにも(2022年10月10日)

独国の「反米・反NATO・反ウクライナ」デモが。独国だけでなく仏国にも飛火。仏国では【FREXIT】反米・脱NATO・反ウクライナがスローガンになっている。

パリの人々が街頭に出て、「NATO から離脱しよう！(Sortons vite de l'OTAN!)」と叫び、マクロン大統領の辞任を要求している。不要な経済制裁をロシアに課したため、ウクライナ戦争に巻き込まれ、エネルギー価格が上昇した。欧州全土で大規模な抗議活動が発生しているが、不都合な事実は報道されない

https://twitter.com/ranranran_news/status/1579374352134737920?t=rUZJ-BGLHJle4OISFQT1CQ&s=09



欧州諸国はどうするのか？(2022年10月10日)

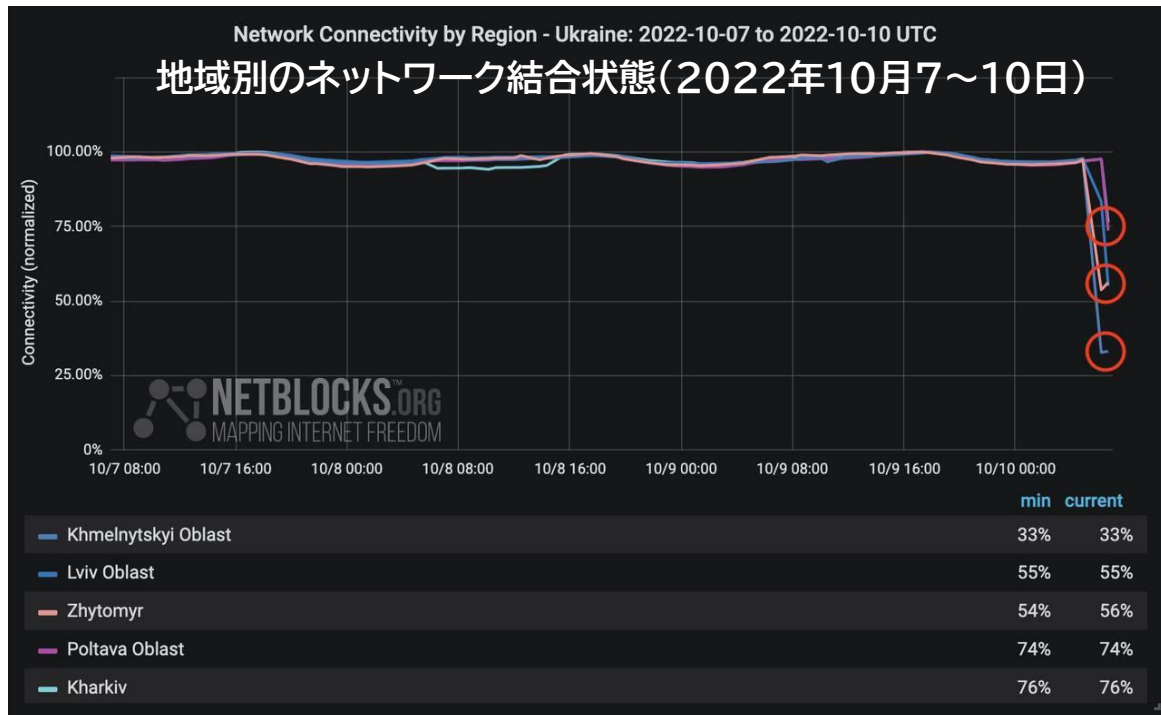
戦闘機飛ばして来たら、どの国が参戦したのか分かる。でもドイツもフランスも、これ以上ウクライナ戦争に深入りしたら、暴動が起きるかもしれない。

●カナダのトロントでも10月3日以来大デモ(2022年10月10日)

<https://twitter.com/simuranana/status/1576857483796107265?t=8npET3kYXYL92b4zd8bgw&s=09>



●ロシアのミサイル攻撃でウクライナのネット接続が急減(2022年10月10日)



●ロシア側からクリミア大橋テロをみると(2022年10月10日)

キエフは政治的、軍事的に無謀にも全ての境界を越えた。この攻撃は既にインフラを破壊した。攻撃は下水処理場に至るまで続く。

物流は混乱しガソリンはなくなり、列車は停止する。EU 大使館は緊急避難している。

20万人の動員されたロシア国民はまだ戦線に到着もしていない。



●ゼレンスキー大統領公式アカウント(2020年10月10日)

ゼレンスキー大統領は、エマニュエル・マクロン仏大統領と緊急電話会談。『我々は、防空システムの強化、欧州及び国際社会の厳しい対応の必要性、ロシア連邦への圧力の増大について話し合った』。

フランスはウクライナを支持するという。しかし、マクロンも自国のデモ、ガソリンの制限などで自分の首が危ない状態だから、ゼレンスキーに構っているとますます立場が悪くなる。

それにしても、ゼレンスキーがまず最初にマクロンに泣きついたことが興味深いという見方もある。

●多数のポーランド傭兵がいるビルが攻撃される(2022年10月10日)

ポーランドからの5千人を含む大量の傭兵がいるビルが攻撃。そのため NATO は攻撃を中止せざるを得なくなった。



●ゼレンスキーの遅きに失している判断(2022年10月10日)

【10月10日 AFP】ウォロディミル・ゼレンスキー大統領は10日、首都キーウをはじめ国内各都市が攻撃を受け死傷者が出ているのを受け、ロシアは「われわれを地上から消し去ろうとしている」と非難した。

ゼレンスキー氏はソーシャルメディアへの投稿で、「各地で空襲警報が鳴り続けている。残念ながら死傷者が出ている。防空壕(ごう)から出ないようお願いする」と述べた。



格好つけてる場合じゃなかりょうに。

※安齋注:こうなることはとっくの昔に分かっていたでしょうに！それも分からずにドンバスを攻撃し、拳句の果てにクリミア大橋にテロ攻撃を加えたのだとすれば、何をかいわんやですね。和平の条件があったのにアメリカの意に寄り添ってそれに背を向け、無謀な戦争に走り続ける一なんてこんな大統領が「英雄」なのか。